

令和6年8月20日

蕨市長 頼高 英雄 様

蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議

会長 林 大樹

蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る意見について

本有識者会議は、市長より委員の委嘱を受けて、令和6年7月30日に蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略について検証を行った。

蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げる取組は、地方創生の推進に向けて概ね着実に実施されているものと思われる。

今後も、持続可能な都市として発展し続けるために、引き続き本戦略で掲げる取組を推進するとともに、これまでの取組について総括を行いながら、総合戦略の改定に向けた検討を進められたい。

なお、検証の過程で出された意見については、別添の「蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る意見」に整理したので、施策・事業の推進にあたっては十分に配慮・検討されたい。

別添 蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る意見

○総合戦略については、多岐にわたる分野の取組が位置付けられているが、数値目標・K P I とともに、目標達成に向けて順調に進捗している。引き続き、着実な取組の推進に努められたい。

○この数年間はコロナ禍もあり、まちづくりを進める上でもさまざまな制約があったが、令和5年度は大規模事業である新庁舎整備や、それに伴う組織改正、外国人相談窓口の設置など、現総合戦略に掲げる取組は着実に推進されている。

○市と町会が連携した防犯灯や防犯カメラの整備をはじめ、地域における防犯パトロールの推進など、防災、環境も含めて、安全安心なまちづくりは向上しており、引き続き、地域と連携した取組の推進を図られたい。

○昨年10月に蕨郵便局で発生した立てこもり事件は、突発的な事件であったが、警察との連携を通じて、児童・生徒の避難誘導や、公民館での避難所開設など、迅速な対策が講じられていた。今後についても、引き続き、警察との連携強化に努めながら、着実な防犯対策の推進に努められたい。

○近年、土地価格を含め、住宅取得費用の高騰が続いており、若い世代の定住促進を図る上でも課題となっている。本市においては、三世代ふれあい家族住宅取得支援事業補助金などの支援制度が整備されているが、昨今の社会経済情勢等も鑑み、更なる取組の充実に向けて検討を進められたい。